



つなまち

No.177

TSUNAN-TOWN

2010年1月20日発行



三箇小学校「最後のリコーダー演奏」



津南町立 津南原小学校
閉校記念式典

津南原小学校「子供達だけの閉校式」

12月定例会 12/16~18

- 議長新年のあいさつ・補正予算…………… ②
- 条例改正・請願・意見書…………… ③
- 一般質問(9名)・人事…………… ④~⑧
- 22年度建築要望…………… ⑨~⑪
- シリーズ 私もひと言…………… ⑫

新年のご挨拶

津南町議会議長

吉野

徹



新年明けましておめでとございます。
町民の皆様には日頃から町政に対するあたたかいご理解と絶大なるご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

国内において昨年は景気対策を始めとする雇用問題、失業対策、少子化対策、環境対策等数多い課題の中で、9月には国民の期待を背負った民主党主体とする連立政権が誕生しました。
町内でも主要事業所の撤退など雇用問題、少子化対策、農業商工業、学校統廃合など克服すべき多くの課題を抱え、その重要性はますます複雑多様化するなど厳しいものがあります。

私達議会は、議決機関としてより豊かな住みよい町づくりを目指し、今後更に創意工夫を重ね、町民皆様方の期待にこたえるよう決意を新たに進めたいと思っております。

本年も変わらぬご指導下さいますようお願いいたします。

町民皆様方にとりまして本年一年が素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

平成21年第4回定例会が12月16日から18日までの会期で開催されました。9名の一般質問に始まり、教育委員の同意、条例改正、平成21年度補正予算を審議し、原案通り可決しました。

国、県の支出金の増と中越地震復興基金の補助などで補正予算（1億2,089万円の増額で総額63億6,458万円）が審議され全員賛成で可決された。

平成21年度

一般会計 補正 予算

主な補正の内容

議会費

欠員による議員報酬の減

総務費

乗合タクシー（10人乗り）
2台購入

民生費

子育て応援特別手当交付金
執行停止による減

農林水産業費

津南町森林組合加工場への交付金

商工費

竜神の館熱交換器入れ替え及び給湯試験委託料

消防費

全国瞬時警報システム導入事業委託料

教育費

町公民館エレベーター新設工事

歳入

負担金	259万円
国庫支出金	6,348万円
県支出金	1,276万円
繰入金	163万円
繰越金	896万円
諸収入	2,009万円
財産寄付金収入	48万円
町債	1,090万円

歳出

議会費	△566万円
総務費	959万円
民生費	△1,742万円
衛生費	480万円
労働費	147万円
農林水産業費	9,447万円
商工費	858万円
土木費	△11万円
消防費	311万円
教育費	2,206万円

平成21年度

特別会計

補正予算

国民健康保険会計

補正額	1億 448万円
総額	11億6,321万円

介護保険会計

補正額	2,390万円
総額	13億5,680万円

下水道事業会計

補正額	2,939万円
総額	5億2,198万円

農業集落排水事業会計

補正額	△334万円
総額	2億8,765万円

条例の改正

■津南町国民健康保険条例の一部改正
(賛成多数)

◆地方税制改正に伴い、上場株式会社等の配当所得の損益通算の特例と土地等の長期譲渡所得の特別控除が創設されたこと等に伴う改正

■津南町定住促進公共住宅条例の一部改正
(全員賛成)

要旨 町内における空き家等を定住者に転貸するため「空き家定住促進住宅」を加える。

■津南町営住宅条例の一部改正
(全員賛成)

要旨 美雪町住宅の建て替えによる、所在地、構造、戸数の改正

財産の取得

1 「教育支援ソフト」

取得価格 10,804,500円
契約先 株式会社スノーランド

2 「中学校ノートパソコン」他

取得価格 14,965,020円
契約先 日本電信電話株式会社
新潟支店

趣旨 学校教育分野での情報コミュニケーション技術学習環境の整備

請願・陳情意見書

■後期高齢者医療制度のすみやかな廃止の意見書
(全員賛成)

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣

■核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書
(全員賛成)

要旨 非核三原則を堅持するとともに2020年までに核兵器の廃絶をめざす「2020ビジョン」を支持し、実現に向けて取り組むこと。

■所得税法56条の廃止を求める意見書
(賛成多数)

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・法務大臣

要旨 所得税法56条「配偶者とその家族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」により必要経費と認められていない。世界の主要国では「自家労賃を必要経費」として認めている。家族従業員の人格・人権、労働を正當に評価すべきである。

■EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTA・日豪EPAの推進に反対する意見書
(全員賛成)

提出先

内閣総理大臣・農林水産大臣・外務大臣・経済産業大臣

要旨 深刻な世界の食料問題を解決するには、それぞれの国が主要食糧の増産をはかり食料自給率を向上させる以外に打開できない。このようのなか農産物貿易の全面自由化路線の見直しを強く求める。

☆EPA・特定の2国間又は複数国間で、貿易・投資の自由化・円滑化を促進し、水際及び国内の規制の撤廃など経済関係の強化を目的とする協定。

☆FTA・ある特定の2国間あるいは多国間で関税や数量制限等の貿易障壁を排除し自由化して1つの経済圏を作る取り決め。

■電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長を求める意見書
(全員賛成)

提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・経済産業大臣・財務大臣・財務大臣・総務大臣

要旨 平成22年をもって期限を迎える水力交付金について23年以降は恒久的な制度とすること、最低保証額の引き上げなど交付条件の改善や事務手続きの簡素化を要望する。

(※)「協同労働の協同組合法(仮称)」の法制化を求める意見書に関する請願は継続審査となりました。

草津 進議員

任期満了に伴う町長選への思いは

町長..残された任期を全うしたい

自律の津南町は 水平飛行に乗ったか

問 自律の道を歩み出した我が津南町、水平飛行にもって行く必要を訴え5期目の任を担って来たが軌道に乗ったのか。

町長 誇りと夢を持てる町づくりを目指して来た。無駄を省くことは当然であるが、財政に裏づけられたことがより大事であり、健全財政は堅持されていると自負している。水平飛行の継続が必要である。

問 弱者優先、へき地優先の町政運営がなされてきたが、6選はないと考えていいのか。

町長 6選はない。その通りである。

第4回大地の芸術祭 津南町の総括は

問 津南町エリアにおける芸術作品数と入込み数、また経済波及効果は。

町長 第4回大地の芸術祭の津南町への入込み客数は第3回の

1万386人に比較し、33・6%増となった。経済効果は津南の観光スポットの施設全体の入込み数では、昨年同月に比較し6%増であり、宿泊8施設では35%の増加となり、それなりの効果があった。第5回の取り組みは4回目目分析、検証をしてから十日町市と共に検証していく必要性がある。

新年度予算の 組み立てと中身を

問 22年度予算編成作業は。

町長 政権交替がなされたがまだ日が浅く、本町への影響が顕著に現れていない。国の予算が示されないで地方財政計画が出来ない。本町の予算編成は例年より遅れる。



お疲れ様でした

高橋孝男議員

町内の雇用状況を問う

町長..町内企業等含め18名程度新採用

早期新築が待たれる
県立十日町病院



地域の活力は雇用 拡大が重要だ

問 平成22年度の地域の雇用状況はどうか。

町長 町内企業等を含め18名程度の採用を内定した。企業等については新規雇用が厳しく、定年等の補充程度である。

問 空き家、団地等で定住人口増のため魅力を加した、積極策を具体的に講じてはどうか。

町長 グリーンツーリズム推進室を通じてPRに努める。今すぐ入居可能4棟、1月入居可能3棟、22年度宅地の分譲は可能だ。

問 新十日町病院建設促進に関して、地元自治体の準備や、医師等

の現体制維持と地域医療の向上をどう図るか。建設場所は現在地で可能という情報があるが、十日町市と情報を共有し早急に前進させる考えは。また、他の重要案件も関口市長と連携し進展を図る考えはどうか。

町長 関口市長から県、十日町市の協議会に津南町も加わってと要請がある。用地のことは多少の間が必要であり、その後に連携を密にする。

問 地域の医療を守り向上させる上から、次の5点について町長の見解は如何か。

- ①現在の医療レベルを更に向上を目指すための応援。
- ②十日町病院検討結果報告書の内容を実行する。
- ③現医師、看護師等の定着と更に確保に努める。
- ④十日町病院の運営上全てに混乱を生じさせない。
- ⑤地元自治体の協力体制が必要である。

町長 提案の5点について認識しているし、十分見きわめていきたい。

大平謙一 議員

町の人口減少は危機的状況。対策は

町長：津南の資源活用と若者ニーズの町作り

人口減少は今後40年間続く 対策を急げ

問 少子化対策を見直し新しい考え方で対策を立てるべき。

町長 国を挙げ対策している。町は子供に対する助成は、保育費や出産祝い金、医療費補助など他町村に先駆けおこなっている。若者の定住に対しては、町にある資源、設備された農業基盤を活かし農業の6次産業化等で農業の活性化、地方の財源である過疎法の継続によりNPOや生産法人など夢を持った人達の活躍に期待している。

下水道継ぎ込みはなぜ 進まないのか

問 下水道本管工事は中央地区では工事完了から10年にもなる。なぜ進まないのか。

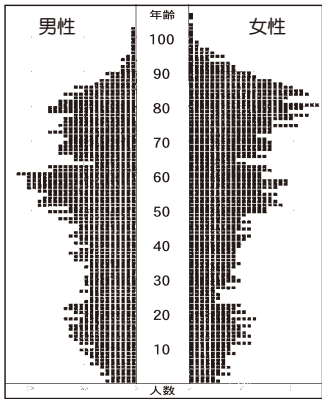
町長 継ぎ込みをしていない方にアンケートなどで理由を求めている。しかし高齢者世帯などは継ぎ込みが68%と進んでいる。弱い立場の人が継ぎ込み、継

ぎ込み可能な人が工事をためらう。理由は使用料を払いたくないのではないのか。町としては公平性からも同意している方々に継ぎ込みを求めるべきだ。

建設課長 現在、工事完了届が出していない人もあり、確定数でないし、工事については強制できるものではない。

問 一日1トン使用なら一ヶ月5,000円程度。環境の為に町財政の為に継ぎ込みをお願いすべきと思うが。

建設課長 工事への強い要望で下水道事業を始めたのでその事は理解いただいていると思っている。未継ぎが環境、財政にあたる影響について住民に理解を求めている。



農業者の高齢化、後継者不足について

町長：農業所得の向上が重要

わが町にとって、 農業は重要な産業

問 一次就業者割合、高齢者就業率、専業農家割合等いずれも県下で上位に位置していることから、わが町にとって農業は極めて重要な産業である。後継者の育成、新規就農者の確保、高齢者の方々から一年も長く従事していただくには、わが町の農業を魅力ある産業に構造改革、転換することと思われるが、攻めの農政を展開するに当たり、今後想定される施策について伺う。

町長 いずれも同じ問題・課題である。それは農業が魅力ある産業でないことが大きな要因となっているが、このことは国の農業政策の貧弱さからでもある。なかでも、所得を高めた優良経営者もあり、経営次第では魅力ある農業を展開することが可能である。

そのような経営者が育つことを期待したい。

農業所得の向上を図るには生産コストの低減と、農産物価格の販

売額の向上を図ることである。これは国や県の主要施策であり、これらの制度を活用する

中で、組織化や担い手への農地の集積を進めることが重要である。本町の農産物は品質で対抗できる作物が多く、消費者への認知と農業者の今以上の努力により所得の向上に努めることが重要である。

集落営農は農業構造 を変え大変革か

問 集落営農は地域の農業構造を変える戦後の農地改革以来の大改革と言われているがどうか。

町長 四ヘクタール以上の認定農業者の品目横断的経営安定対策の小規模農家の救済策として進められてきた。設立には協力するが、町から政策的に集落営農を進める考えはない。集落の合意に期待したい。



伊林康男 議員

滝沢茂光 議員

アスベスト水道管箇所公表と完全布設替えを

町長：計画的に進める

問 アスベスト管の存在は問題だ、早期布設替えを。

町長 残り6地区1、560mであり計画的に進めてまいる。ただWHO世界保健機関では公式見解として水道管としては問題はないとされているが、強度の弱いのが欠点であり改善していきたい。

問 もろいということは混入する危険も大きいので早期布設替えを望みたい。

町長 計画的に進めて行く。

問 小下里集落のつなん荘の廃屋処理の対策を伺いたい。

町長 個人的財産ではあるが、この件については本人と連絡をとらせてもらったが、来春には処理をするとのことである。

問 近くには物産館もあり見苦しい。集落に親戚もあり協力も出来るとのことでもあり確実に実行することが大事であるのではありませんか。

町長 暗渠での排水ではあるが破

損箇所が見つかり12月15日修繕を行った。

問 津南病院駐車場の障害者用スペースに雨除け施設を。

町長 冬期間は除雪の問題があり出来ないが、冬季以外は対応したい。駐輪場についても要望が多いようであれば対応を検討したい。

問 農業公社の在り方と果たすべき役割は。

町長 耕作しきれない共有地の管理運営が基本であるがそれについても、当時町村が農地を持つ事が出来るように道筋を開くため大変苦労した。

問 山麓開発から30年以上経過し地権者の異動等もあり、又増える傾向にある事から今後交換分合も必要になると思うが。

地域振興課長 状況に照らし対応して行きたい。



農業公社の役割は大きい

大口 武 議員

所得税法56条の廃止要請を税制改革でしっかりと検討・研究を

「私の働き分を認め」は当然

問 所得税法56条では白色の税申告者の家族は事業の経費としての給料を認めていない。配偶者86万円、他の親族には50万円の専従者控除は事業主の所得控除であり、専業主婦は世帯主の所得控除で38万円があるが白色専従者にはそれもない。

町長 56条廃止の要請などは全く念頭になかった。シャープ税制勧告で所得税の課税単位を個人単位に改正する際に、家族従業員を雇用することにより所得分割を制する措置として導入された。

また、個人事業主が売り上げ及び経費を適切に記帳して適正申告を行うことが重要で、帳簿等の整備を基礎として適正な申告を奨励

する観点から青色申告制度が設けられたが記帳と帳簿の保存を条件に各種の優遇措置の適用が認められている。

問 現在、白色でも記帳・保存義務もあり、税金のがれをするときになれば青も白も同じである。56条の弊害は交通事故での休業補償額が白色専従者（配偶者）は日額2,300円で専業主婦は日額5,700円にもなる。白色専従者は所得がないので車を買うローンも組めない。町長には廃止のためには努力を要請する。

町長 社会・経済の状況も変わり、時代への対応も必要。同じように働いていれば税制上も同じように扱われるのが適当である。国の税制改革

でしっかりと検討・研究すべきだ。



私の給料を認めて

藤ノ木浩子議員

国保料値上げをすべきではない

町長：財源のあり方、慎重に検討しなければ

住民負担でなく 国庫負担増を求めよ

問 国保料は県下でも安く、10年以上値上げしていないことは評価するが、滞納世帯の増加や資格証の発行、さらには企業の閉鎖や仕事がないなど住民生活が大変な実態からも国保料は一般会計からの繰り入れをしても値上げはすべきではない。

町長 一人当りの医療費は、2.6%自然増で伸びている。財源対策として基金を取り崩して対応してきた。今回も補正予算で基金取り崩し3,500万円を予定しているが、基金残高が3,660万円で底をつく状態となる。先を見通した財源のあり方を慎重に検討しなければならぬ。

福祉保健課長 一番大きいのが保険料の収入減であるが、前期高齢者交付金と療養給付費等交付金の相殺による収入減などで5,000万

円の影響を見込んでいる。

問 歳出に占める国庫負担は昭和58年で68.6%であったが、毎年減らされ、平成20年は26.3%である。これをどうみるか。

福祉保健課長 制度改正により国庫負担が減少しているのは認識している。当然弱い保険者であるので、その基盤を町民負担でなく、国の財政支援をという強い要望をもっている。

問 国保の実態では、病院受診率県下最低、一人当りの医療費も最低ランク、しかし一件当りの医療費は県下2位と高いが。

福祉保健課長 受診を控えているのか。医療機関が少ないためか。町民の我慢気質が表われているのかもしれない。



病院受診率県下最低の津南町

藤木正喜議員

津南醸造の経営責任をどうと

町長：調停についてはまったく承知していない

貸付金については民間だけに責任転嫁でいいのか

問 平成7年、町作成の小松原醸造株式会社の設立趣意書が作られスタートしたわけであるが、紆余曲折のなかJAからの借入金問題で法廷闘争が行われているが、主導した町が責任を逃れているように思うが。

町長 町が主導したものでなく、お手伝いをした、支援をしたというのが事実である。

借入金問題はJA津南との貸借であり、調停についてはまったく承知していない。

問 町は再三にわたり「経営は確信をもってできる」と明言しており、議会にも説明している。町は5,000万円を出資し大株主としての経営責任があるのではないか。

副町長 酒造の免許取得など膨大な事務仕事があり、JAだけでは無理があり、町は事務などのお手伝いをしただけである。

問 民事調停のなかでJAと民間

の連帯保証人の方々が折半をし、解決するしかないと言われるが、町は責任逃れではないのか。

副町長 今回の調停はどうしてこうなったのかわからないが、今後の売り上げ増で借入金は返していくと判断している。



今後のJA津南の判断も大事である

根津勝幸 議員

津南町の学力、体力の把握はできるのか

教育長・標準テストを実施している

半分以下の抽出方式で大丈夫なのか

問 新政権において、学力・体力テストは全員対象から抽出方式を求めている。学力テストは更に抽出率を下げるよう要求しているが、半分以下の抽出方式で全国、また地方の子供の学力、体力の平均と見なせるのか。

教育長 学力テストは平成19年に43年ぶりに復活した。政権交代により学力の把握は抽出でも良いとの判断で40%の抽出率で実施される。仕分け作業において更に下げても学力の把握はできると判断された。しかし、数少ない抽出で全国の子力の把握が可能かどうか、また、経年の比較も疑問視されている。町内は、全学年を対象に実施する全国標準学力検査NRTを実施し、経年比較の中で個々の学習指導に活用している。

問 義務教育費の国の負担を減らされると、地方の財政事情により教育に差が出るのは不平等であるがいかがか。

教育長 教育はどこに行っても平等に受けられるのが理想であり、基本である。国庫負担が2分の1から3分の1に減額されたが、これらの見直しが必要であり、当教育委員会の段階でも2分の1の復活を県教育委員会に要望したところである。

問 就学前の障がいを持つ子供への教育環境の配慮は入学時からでは遅いのではないか。

縦割り行政ではなく、福祉と教育委員会で見えていく必要があるのではないかと。

教育長 発達の障がいを持つ子供が年々増えているのが実態である。なぜ起こるのかは疫学的に解明されていない。早い段階から対象幼児の情報交換を個人情報に配慮してやる。



都市と地方の学力環境差はなくせ

人事



津南町教育委員に
島田幸江氏

教育委員に2期8年の間在任していた江村かおる氏の後任として、島田幸江氏（寺石）の任命に同意した。
任期は4年で平成21年12月21日からとなる。

平成21年 第3回臨時議会

10月20日第3回津南町議会臨時会において、平成21年度一般会計補正予算が上程され、全会一致で可決された。

一、名誉町民

故村山正司氏の町葬費用
1,827千円

平成21年 第4回臨時議会

11月30日第4回津南町議会臨時会において、条例の一部改正を合わせ4件の議案が上程され、全会一致で可決された。

一、津南町職員の給与に関する条例の一部改正

要旨 給料、期末、勤勉手当の減額

二、財産の取得

(ロータリ車 300PS級)

取得価格 22,333,500円

契約先 株式会社山崎サービス

三、工事請負契約の変更

町営住宅(美雪町A棟)

59,335,500円を

59,832,150円に改める。

説明 下層コンクリート塊の撤去費用の増

四、工事請負契約の変更

町営住宅(美雪町B棟)

66,202,500円を

67,849,950円に改める。

説明 項目3と同じ



新しくなった町営美雪町住宅

平成22年度建築要望

平成22年度の予算編成にあたって、各常任委員会から83の要望を行いました。その中から、主要要望を抜粋し掲載いたします。

総文福祉常任委員会

〔総務関係〕

◆地方財源確保のため、地方交付税の総額を削減しないよう国に強く働きかけたい。併せて自主財源確保にも努められたい。また、全国森林環境税の創設に努められたい。

が、原子力発電と水力発電は従来どおり新年度も一応確保の見通しとなった。森林環境税については全国町村会でも提案、提言をしている。

◆「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月で失効するが、引き続き総合的な過疎対策を充実強化するため、関係団体と連携して、新たな過疎対策法の制定を国に強く働きかけられたい。

町長 地方財源確保は当然のことであり、今後とも努力をしてまいらなければならない。今般の事業仕分けでは、電源三法の中の水力発電所在市町村の交付金が事業仕分けの中に入っていた

町長 新潟県議団で特定地域活性化議員連盟として申し入れ、政府側は議員立法で立ち上げたいとのことだが、恒久的な法案として確立していただけるよう活動を展開している。



発電所

〔学校教育関係〕

◆複式学級基準の引き下げを要望されることも、教員の加配に配慮されたい。

教育長 現在学級編成基準は16人以下が複式学級となっている。要望はしているが改善は図れない。町では町単の加配と主要教科の単式化に努めている。

◆特別支援学級の増設、対応教職員の増員等、障害児教育の更なる充実と施設整備を図られたい。

教育長 特別支援児童・生徒が確実に増えている。町単独で支援員を配置しているので国の財政支援の制度化をお願いしている。



特別教室

〔生涯学習関係〕

◆縄文体験館への交通手段の確保を図り、体験学習施設としての総合的な機能的充実を図られたい。

教育長 一人、二人といった個人的要望までは無理である

るが、それぞれの地区で何人かまとまっているなら対応する。機能充実については総合的配置計画の中で、あるいはまた財政的・制度的なものもしっかりと確認しながら前向きに検討してまいりたい。

〔福祉保健関係〕

◆介護予防、生活支援体制と在宅サービスの充実を図られたい。施設利用料については、低所得者の負担軽減について国に改善を求めて頂きたい。

町長 介護予防、生活支援体制等々は地域包括支援センターが要となっており、地域密着型サービスの施設を年次的に整備し、在宅サービスの充実を努めてきた。なお、訪問及び通所系サービスの利用料の負担軽減のための支援制度は新年度以降も継続してまいりたい。施設利用料については制度上のことであり、独自の負担軽減を図ることは困難であるので国県に要望して行く。

◆三箇保育園・津南原保育園の施設活用について。

町長 三箇保育園については平成23年度に介護保険の地域密着型サービス施設として利用することとして検討している。

津南原保育園については用途変更の手続きをとりながら活性化に貢献できる施設として利用したいと考えている。



津南原保育園

◆国民健康保険料、介護保険料については、被保険者の負担軽減に引き続き努められたい。

町長 国民健康保険の保険料を10年以上引き上げないできたことは評価願いたい。我が町民の自分の健康は自分で守る意識の高さと思う。ただ年々大変財政が厳しくなっており、新年度予算編成で決断することとなる。

【病院関係】

◆病院施設の充実を図るともに、職員の資質向上を図り、患者サービスにより一層の努力をされたい。

町長 施設も老朽化しており、必要な整備更新を年次的に取り組んでいる。職員の資質向上については、外部研修に参加し、また院内研修も実施して、一層の資質向上に努めていただく。患者サービスの向上であるが、待ち時間の短縮ということでもコンピュータの更新によって会計あるいは薬の待ち時間の短縮が図られているが、一層のサービス向上に心がけ、接遇の向上等々にも取り組んで行く。

産業建設常任委員会

【農林関係】

◆苗場山麓開発事業の受益農家負担の軽減対策を引き続き積極的に講じるとともに、国に対し軽減策を働きかけられたい。

町長 償還金の軽減については、基幹施設に対する町の負担や計画償還、平準化、21世紀型モデル事業等あら



農協車輛センター付近のほ場整備

ゆる制度を活用して軽減を図ってきたところである。本年度も国の土地基盤整備に伴う緊急経済対策による償還金軽減策の経営安定対策基盤整備緊急支援事業において、苗場第一地区で今後7年間の総額で10a当たり約1万8千円、苗場第二地区で6万9千円、団体営相吉地区5千円程度の軽減策がなされる予定である。またそのほかにも、団体営や県営事業の羽倉、大井平、上野、足滝地区も現在同事業を申請中であり、軽減策に努めている。

◆土づくりの強化対策として

安全良質堆肥増産のため堆肥センターを活用するとともに、耕畜連携の支援も含め農家負担軽減の継続並びに連作障害対策として緑肥栽培等にも助成を図られたい。

町長 平成3年度堆肥センターの増設及び施設改善を行い、品質は格段に向上したほか、価格も1㎡あたり1,500円(普通堆肥)と2,500円にした。農家にも大変好評である。今後も積極的に活用願いたい。緑肥については自らの経営努力や営農活動の中で取り組んでいただきたい。

◆畜産経営にあたっては、適切な経営指導及び環境整備

のための指導と糞尿処理施設に対しての助成を図られたい。

町長 畜産農家の健全経営推進のため、県畜産会の定期的コンサルや指導を願っているほか、予防注射の補助等を実施してきた。

糞尿処理対策については、飼育環境の実態を考慮しながら、補助やリース事

業の導入を行ってきているが、臭気対策については畜産農家の努力も願わなければならぬ。

◆農業後継者対策は新規参入者だけでなく、既存農家の後継者にも補助金を出して育てる施策を講じられたい。

町長 後継者支援事業については従来から新規参入だけでなく、農家後継者にも支援を行っている。平成21年度にも3人の農業後継者助成を予定している。



ここにすまねえかい

◆後継者対策としてふれあい事業や都市との交流を深めるとともに、研修や話し合いの場を作るなど積極的に配偶者対策を取り組まれたい。

町長 配偶者対策として町が委託した結婚相談員が輪番で結婚相談に当たっているほか、集落相談会を行う等それぞれの情報交換の中で活動を行っていただいている。

また、男女の交流の場として町単独でのふれあい事業を12月に計画している。今後は結婚だけを目的にした交流だけでなく、グリーンツーリズム等を活用した交流活動が必要であると考えている。

【商工観光関係】

◆商工振興の基幹となる商工会と連携を図りながら、地域間競争に打ち勝つ具体的な方策を講じられたい。

①各制度資金の拡充と活用について十分配慮すること。

町長 制度資金の拡充については、県においても各種の資金事業があるが、商工会と連携してその活用策を積極的に推進する必要がある。特にセーフティネット資金の需要が多くあり、町としても万全を期して対応している。



利用できるかふれあいセンター

②不況対策として、町単独による融資制度の拡充を図ること。

町長 町単独融資についてであるが、県の各種融資制度があるので、この活用を図ることが第一義と考えているが、町単独のつなぎ融資資金を平成21年度から予算化したところである。

◆中心市街地の活性化を積極的に図りたい。

町長 農政局跡地利用については、商店街活性化のために活用できないか検討した経過もあるが、国道405号線拡幅のからみで、この移転先など代替地に利用することを考えている。商店街の方々は旧マールツネストアー（現ふれあ

いセンター）の有効活用をさせていただき、商店街の活性化に貢献いただきたいと考えている。なお中心市街地については、自ら魅力のある店舗づくりや待遇も含めて関係者の自助努力も願いたい。

◆観光振興については、県並びに関係市町村と連携する中で、既存施設とのネットワーク化を図り、観光協会、観光関連施設・団体とともに、更に誘客に努められたい。

町長 県は来年度も大型観光キャンペーンに取り組む予定であり、雪国観光圏、奥信越観光協議会等で県及び関係市町村と連携を図りながら、広域観光をより一層進め誘客に努める。

【建設関係】

◆国道117号の整備促進に努められたい。

①大倉バイパスの早期完工
町長 平成21年度は昨年より1億円多い7億円となっております。21年度中に貫通することとなっている。県では早ければ23年度の完成を目

指しているが、早期完成に向け強く訴えて行きたい。

②灰雨スノーシエットの大型二車線確保

町長 灰雨スノーシエッドも要望はしているが、当面、大倉トンネルに重点を置かざるを得ない。

③大割野、陣場下地内の交通渋滞解消

町長 右折車線の設置は多くの家屋移転が伴い極めて困難であり、今後も警察による信号機の時間調整で対応して行きたい。

◆国道353号（十二峠）については改良工事の早期完成を期し、新規事業であるトンネル工事の実現に努められたい。④小千谷・十日町・津南線の未改良部分についての改良促進も早急に対応されたい。

町長 国道353号十二峠の改良は早期の完成を要望している。今年度は92mを工事中であるが残延長は266mあり、まだ相当時間がかかる。新トンネルについては期成同盟会とともに今後も継続して要望して行きたい。

小千谷十日町津南線では、卯ノ木と穴山の工事の継続を要望している。

◆道路財源確保に努め、町道（生活道路）の改良並びに舗装事業の推進に努力されたい。

町長 町道改良では生活道路の拡幅改良に多くの要望が寄せられているので、優先度の検討や財源確保を図り、計画的な実施ができるよう努力して行きたい。

◆除雪路線の延長について一層努力するとともに、生活道路確保のために消雪パイプの設置を図られたい。また、現行の工事費限度額の引き上げ等、負担の軽減を図られたい。なお、そのほかの町道（集落内）の電気料も助成対象とされたい。

町長 改良工事が完了した路線は除雪路線に組み込んで行きたい。
消雪パイプは住宅密集地を優先的に取り組んできたが、老朽箇所も多くなり井戸の水量不足などが発生しているので、井戸の更新等維持管理にも努めて行きたい。

い。工事費限度額の引き上げと集落内道路の電気料助成については現状では厳しいと考えている。



望まれる流雪溝

◆流雪溝の整備促進を図られたい。

町長 新たに流雪溝用水を確保することは難しい。現在ある水利権を使用する場合でも、これまでの水の利用形態を根本的に変更することになるため、その体制づくりに理解が得られるかが課題であると思っている。



津南の自然・人たちの 温もりに包まれて

辰ノ口 小野塚麻衣子 さん

「よく降るなあ。どこまで積もるんだろう。」薄暗い空に真っ白な景色。私の出身関東は対照的に冬といえど乾燥して晴天が多いので気候の違いに驚きました。雪は冬に1、2回降るかどうか、積もることはめずらしく、そんな時はうれしくて雪合戦をしたり雪だるまを作ったり、というのが冬の思い出です。雪まつりの雪像は立派でとても綺麗、かまくらや滑り台は楽しく、雪上運動会は子どもからお年寄りまで参加できる地域の欠かせない行事です。豪雪生活を楽しむ前向きさに脱帽です。

そして、春にはふきのとうが道端で採れ、夏には蛍が側の水辺にいる、満天の星がいつでも見られること、秋には紅葉を間近で楽しめ、冬には雪遊びが思う存分できる。四季をはつきりと感じられる環境で子ども達がのびのびと育っていくのは恵まれたことなんだと思います。また、近所の方が子どもと散歩をしていると温かく声をかけてくださりうれしかったことを思い出します。何より、お米が美味しいのももちろん、野菜にも「甘さ」があるのを初めて知りました。雪下人参やトウモロコシは子どもも大好きです。ある人から雪のミネラルが田畑にゆつくりと浸透して、お米や野菜を格段に美味しくすると聞きました。

あけましておめでとうございませう。昨年の11月15日に三箇小学校、22日には津南原小学校の閉校式典が開催されました。やはり学校がなくなるといことは大変寂しいことであるということを実感させられた二日間でありました。両校とも大勢の方々の参加があり大変素晴らしい閉校式典でありました。



津南町に嫁いで 感じたこと

正面 桑原淳子 さん

私が津南町に嫁いできたのは7年前の春。山の木々が芽吹き、新緑に染まり始めた頃でした。四季折々の表情豊かな津南の自然の中で一番過ごしやすい大好きな季節です。嫁いだころは身近な山で山菜とりを楽しみましたが、翌年娘を出産してからは自由が利かなくなり津南の季節を眺めるだけとなりました。

私の生まれは小千谷ですが、高校卒業と共に上京し津南町に嫁いでくるまで車は必要なく、免許を取得したのは嫁ぐ約半年前。実際運転を始めたのは津南に来てからなので、主人に教えてもらった道しか走れないほど車の運転は苦手です。さらに冬の運転はまだ4年しか経験がないため、娘を連れ歩くと雪で道幅が狭くなった道路はとてつもない思いをすることがあります。津南は夏のひまわり畑・秋の紅葉・冬のスキー等観光名所がいくつもあります。舗装が整った大きな道から車がすれ違うに精いっぱい狭い道とさまざまな道路状況があると私は感じています。運転が苦手な私のような者から、観光で訪れる方々まで安心して走れる道路づくりをこれからも期待しています。特に冬の生活道路が一番心配です。豪雪地だからこそ除雪整備活動には今後も力を入れていただけたらと思います。

しかしながら、津南原小学校においては、新型インフルエンザの流行により在校生のいない式典になってしまいました。地域のの方々や卒業生の皆さんのお力によりこちらも素晴らしい閉校式典でありました。表紙の津南原小学校の写真は一ヶ月遅れで行った子どもたちだけの閉校式です。できれば学校は残したいものです。(半)



在校生のいない閉校式